

一級自動車工学科		2023年度 授業計画											
時期	一級3年後期	単元	学科	教科名	後期総合演習								
科目	自動車工学	教科書等 持参品	エンジン電子制御装置	発行日	2019年3月7日								
			シャシ電子制御装置										
総時間	12(19)		自動車新技術	教科担当	教科担当								
1. 実務経験のある教員による授業科目 <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">該当</td> <td style="padding: 0 10px;">非該当</td> </tr> </table>						該当	非該当						
該当	非該当												
自動車整備士として、エンジン整備、シャシ整備、新技術整備の実務経験がある教員により構造・作動について指導する。													
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）													
1. 後期のエンジン、シャシ、新技術分野を復習し、理解を深める。													
3. 授業の到達目標（この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか）													
1. CAN通信システム、CAN故障診断の内容を理解している。 2. ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンのECU制御を理解している。 3. エンジン分野の故障探求を理解している。 4. シャシ分野のEPS、ABSにおいて、電気回路診断、ECU制御の内容を理解している。 5. シャシ分野の騒音、振動について発生、防止の内容について理解している。 6. 新技術分野のCVT、VSCS、SRSエアバッグの内容を理解している。													
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）													
筆記試験(100点満点)で70点以上を合格とする。													
出題試験項目													
<table border="0"> <tr> <td>①CANシステムの診断</td> <td>⑤騒音、振動</td> </tr> <tr> <td>②エンジンのECU制御</td> <td>⑥CVT、VSCS、SRSエアバッグ</td> </tr> <tr> <td>③ガソリン・エンジンの故障探究</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ABS、EPSの回路診断</td> <td></td> </tr> </table>						①CANシステムの診断	⑤騒音、振動	②エンジンのECU制御	⑥CVT、VSCS、SRSエアバッグ	③ガソリン・エンジンの故障探究		④ABS、EPSの回路診断	
①CANシステムの診断	⑤騒音、振動												
②エンジンのECU制御	⑥CVT、VSCS、SRSエアバッグ												
③ガソリン・エンジンの故障探究													
④ABS、EPSの回路診断													
5. 準備学習													
学科教科 エンジンB、シャシB、新技術Bの内容を復習しておくこと。													

